

第104回定例会 予算に関する特別委員会

令和2年度歳入歳出予算・令和元年度補正予算を審議

深浦町議会第104回定例会予算に関する特別委員会は、3月9日から11日までの3日間にわたり、令和2年度当初予算関係議案8件、令和元年度補正予算関係議案5件、条例関係議案7件、新町まちづくり計画変更の件1件、工事の請負契約の一部変更の件2件、深浦町教育委員会委員の任命の件1件、人権擁護委員の推薦につき意見を求めるの件1件、合わせて25件について審議をいたしました。審査過程においては、各般にわたり多くの質疑があり、十二分な論議がなされました。主なものは、次のとおりです。



予算に関する特別委員会
委員長 工藤 博利

委員長報告

1 防災無線の整備に当たっては、行政区内のカーカル放送が運用開始と同時に開始

ることなく、費用対効果の高いサービス提供が可能な事業者を選定すること。

3 岩崎スポーツセンター跡地を地域の高齢者のスポーツ

きるよう、必要な機器を配備し操作講習を実施すること。

2 コミュニティバスの実証運行が本運行に移行する際の委託先の選定に当たっては、町内の事業者に限らず、費用対効果の高いサービス提供が可能な事業者を選定すること。

3 岩崎スポーツセンター跡地を地域の高齢者のスポーツ

- 施設として整備すること。
- 4 フィットネスプラザゆとりの存廃については、町民・利用者が納得する方向で進めること。
- 5 ふるさと納税の返礼品の一層の充実を図ること。
- 6 消防団の統合・再編に取り組むこと。
- 7 新型コロナウイルスの感染拡大が及ぼす町経済への影響を最小限に抑え、観光・宿泊施設をはじめ町内の各種企業・事業者の支援に万全の対策を講ずること。

委員会質疑応答

問：斉藤委員

今年度は、ふるさと納税制度の寄付金を使って、白神岳避難小屋を修復したが、来年度は、何か予定している事業等があるのか。

答：総合戦略課長

昨年度は、クラウドファンディングということで使い道（白神岳避難小屋修復）をあ

る程度特定して寄附を募った。今年度においては、まず集めるだけで、その後の使い道は、財政担当と協議しながら町の教育や産業、観光など各課の事業に振り分けを考えている。

問：斉藤委員

来年度に整備する新しい防災無線は、各自治会でもパソコンなどから入力して、すぐその地域内に放送できるということを知ったが間違いはないか。

その際、放送に必要なパソコンなどを各自治会に配備し、操作講習などを実施するのか。

答：総務課長

予算は確保してないが、今後は、委員の提言を参考に、必要な機器の配備や操作方法などの指導を実施したいと考えている。



▲現在の防災無線

問：岩根委員・小野(文)委員
現在の防災無線は、非常に聞こえにくい場所がある。新しく整備する防災無線は、その難聴が解消できるのか。
また、実態調査は、業者任せでなく町職員も地域の声を聞くべきではないか。
答：総務課長
今現在の難聴地域は、町でもある程度は把握している。それを踏まえて、今まさに、難聴地域の音達の調査を行っている。
また、新しく導入するスピーカーは、低い音でも遠くまで飛ばせる高機能スピーカーであることから、難聴の解消が図られる。
しかし、どうしても、その日の風向きや天候によって、聞こえづらい時は、放送内容を確認する方法を周知して対応したい。

問：岩谷委員・斉藤委員
コミュニティバスの実証運行に当たり、委託先をどのようにして決めるのか。
また、実証運行のコミュニティバスの運賃を徴収するのか。
答：総合戦略課長
コミュニティバスの実証運行は、岩崎地区を想定していることから、町外業者だと距離的な要素から委託料が高くなるなどの情報を得ているので、競合させてということよりも、(株)ふかうら開発に委託できればと考えている。
しかしながら、委員ご指摘のとおり、委託先については、精査しながら決めていきたい。
また、実証運行のコミュニティバスの運賃は、徴収しない方向で考えているが、全国的に見ても、無料で運行している事例が無いので、今後、全町的運行を見据えて運賃の徴収について協議していきたい。



▲岩崎スポーツセンター跡地 (岩崎地区)

問：亀川委員
岩崎スポーツセンターの解体跡地について、今後、何か整備する計画等があるのか。
老人クラブで、グラウンドゴルフなど使いたいとの希望があるが整備する考えは。
答：町長
岩崎スポーツセンターの解体跡地は、津波の浸水区域なので、公共施設を整備するとすると非常に慎重に考えなければならぬ。5年先に何々のためかということはない。
また、委員提案のお年寄りのグラウンドゴルフやゲートボール場については、かなり具現性があるので、検討していきたい。

コミュニティバスとは
地域住民の移動手段を確保するために地方自治体等が運行するバスのこと。

問：今委員
フィットネスプラザゆとりの温泉を数年後に廃止する方向で検討しているが、町民や利用者が納得するのか。
答：町長
温泉施設は、公の施設の中でも耐用年数が短い。今後、維持するために年間6000万円から7000万円の経費が掛かる。
明日すぐ閉めるということではないが、閉める計画なので、この財源を若い世代や子供たちのためにシフトして、様々な支援に取り組むのでご理解いただきたい。

問：藤田委員
ふるさと納税の返礼品について、いつも同じような物であれば飽きられる。特産品の開発など一層の充実に努めてもらいたい。
答：総合戦略課長
深浦町食産業振興公社には、雪人参を生かした別の商品もある。また、現在取り組んでいる山椒を使った特産品のものも作っていただければと考えている。
また、(株)あもり海山のサーモンを返礼品として、今年度途中から取り扱っているが、一般市場に出回っている方が大変好評で、返礼品になかなか回ってこないぐらい忙しい。
今後は、返礼品の一層の充実と商品開発も併せて努めたい。

問：斉藤委員・小野(文)委員

2、3年前に消防団の定員数を減らしたと思うが、今の消防団員の人数は。

また、今後人口が減っていきななかで、今のままの消防団でいいのか。統合や再編に取り組むべきと思うが、どうか。

答：町長・総務課長

消防団員数は全体で414人、うち男性385人、女性29人で、定員は450人である。

また、消防団の統廃合は、屯所もいづれ老朽化し、人口も減ることから、今年度から計画的に順次やっていかなければならない政策課題と捉えている。

問：斉藤委員・今委員

新型コロナウイルスによって、町内の宿泊施設の予約キャンセルが相次いでいると聞かどうなのか。

また、町内の建設業者などから資金繰りについての相談があった場合の対策はあるのか。

答：観光課長

町内で集客数の多い宿泊施設の予約キャンセルの状況は、分かっている範囲で294人、また、6月までのキャンセルがあった宿泊施設もあり、その数はおよそ1100人以上である。

また、宿泊のほかに歓迎迎会などの宴会関係のキャンセルも含めば、影響額はおよそ1700万円と見込まれる。

国などから対策等の情報が入って来てるので、町ホームページや広報等で町民に周知し、できる限り救いたい。

ただこの状況が長引けば長引くほど大変で、資金ショートになる前の対策があればいいのだが、今そこが1番心配している。

また、現在、町内の中小企業から町や商工会に相談や問い合わせはないが、町と商工会が連携して窓口の幅を広げて相談に対応していきたい。

問：今委員

来年度の若者交流・結婚推進事業費補助金の予算が減っているが、ほかに何かいい政策があるのか。

答：総合戦略課長

来年度においては、青森出会いサポートセンターや五所川原の定住自立圏で行ってる広範囲に出会いを求める出会いサポート事業を活用していきたいと考えている。

問：大高委員

深浦町に働きに来ていて外国の方と町民が交流を深める何か事業をやっているのか。

答：副町長

働きに来ていて外国の方が15人ほどいるが、研修生で来ているので、地域交流や婚活・結婚はかなり難しいと聞いている。

問：藤田委員

西海岸広域農道は、いつ完成するのか。

答：建設課長

今年、トンネルの中の残工



▲今後整備される西海岸広域農道と国道との接続部分(関字小島崎)

事並びに国道との接続部分の工事に着手し、来年度には、最終工事に入って完成できると県から伺っている。

問：岩谷委員

深浦町準特定空家等解体事業費補助事業の要綱を、5年ないし10年継続すべきと思うが、3年間で打ち切りということを考えているのか。

答：総務課長

この要綱制定時に3年に区

切った理由は定かではない。

この補助事業は非常に利用されているので、今後増える可能性が十分ある。

よって、再度検討し、必要であれば延長等も考えたい。

問：斉藤委員

昨年、風合瀬地区で水道の水源の調査を行っていた

が、その調査結果は。

答：水道課長
風合瀬地区に新たな水道の水源を探るために井戸を掘ったが、水質が悪く、ペーハーも高く、水量もあまりないという結果だった。

現在は、今ある水源を安全な下の方へ下げるか、若しくは田野沢までの町の水道を延伸するか、検討している。